

上越市議会に関するアンケート調査

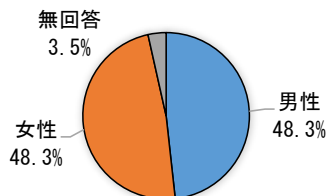
結果報告書

平成30年12月

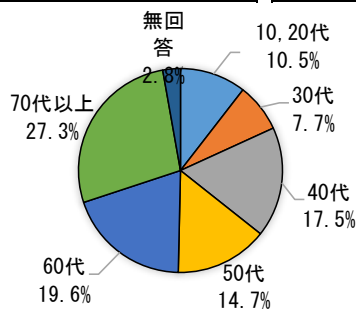
上越市議会

- 調査期間 平成30年8月13日（月）～平成30年8月31日（金）
- 調査対象者 性別・地区・年齢などを考慮して無作為に抽出した市民500人
- 調査方法 郵送によるアンケートの配布ならびに回収
- 回収数・回収率 □回収数 143 □回収率 28.6%
- 回答者の構成

性別	回収数	※回収率	男女比
男性	69	27.6%	48.3%
女性	69	27.6%	48.3%
無回答	5	-	3.5%
合計	143	28.6%	100.0%

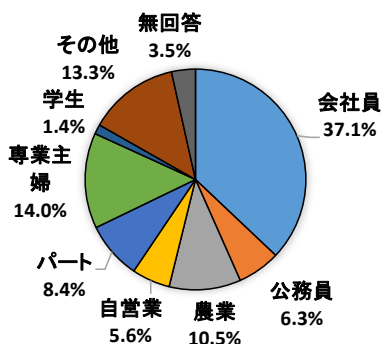
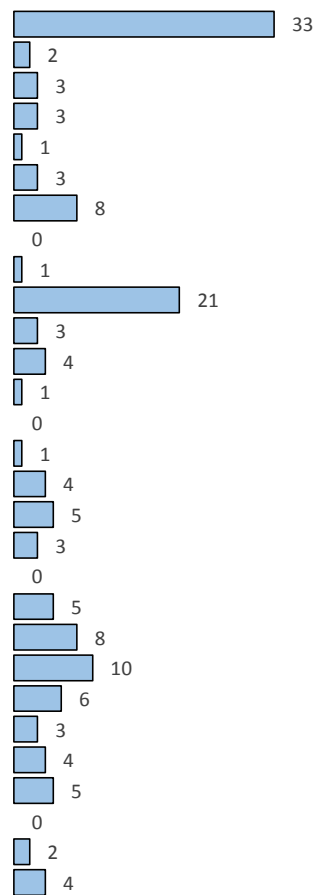


年代	回収数	※回収率	年代比
10, 20代	15	12.6%	10.5%
30代	11	7.7%	7.7%
40代	25	17.5%	17.5%
50代	21	14.7%	14.7%
60代	28	19.6%	19.6%
70代以上	39	27.3%	27.3%
無回答	4	-	2.8%
合計	143	28.6%	100.0%



職業	回収数	年代比
会社員 ※1	53	37.1%
公務員	9	6.3%
農業	15	10.5%
自営業	8	5.6%
パート ※2	12	8.4%
専業主婦	20	14.0%
学生	2	1.4%
その他	19	13.3%
無回答	5	3.5%
合計	143	100.0%

地区名	回収数	※回収率
高田	33	63.5%
新道	2	8.3%
金谷	3	9.4%
諏訪	3	37.5%
和田	1	6.3%
津有	3	25.0%
春日	8	18.2%
三郷	0	0.0%
高士	1	12.5%
直江津	21	58.3%
有田	3	8.3%
八千浦	4	33.3%
保倉	1	12.5%
北諏訪	0	0.0%
谷桑	1	12.5%
安塚	4	33.3%
浦川原	5	41.7%
大島	3	37.5%
牧	0	0.0%
柿崎	5	20.8%
大湯	8	33.3%
頸城	10	41.7%
吉川	6	50.0%
中郷	3	25.0%
板倉	4	25.0%
清里	5	41.7%
三和	0	0.0%
名立	2	16.7%
無回答	4	-
合計	143	-



※1…契約・派遣含む ※2…アルバイト含む

※回収率=回収数/モニター数×100

【アンケート結果の記載方法について】

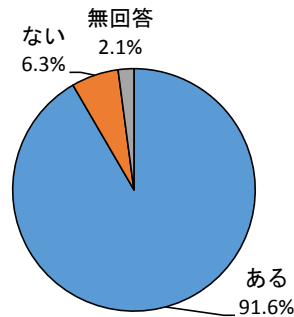
- 1 表中の「N」は有効回答者総数を示し、各選択肢の比率算出の基礎となっています。
- 2 表中の比率（%）は小数点第2位を四捨五入しているため、個々の選択肢の比率の合計が100%にならない場合があります。
- 3 「その他」意見に関しては、紙面の都合上、主な意見を集約、抜粋して記載していることがあります。
- 4 無効回答は「無回答」としています。
- 5 年代の回収率は、配布先の抽出を4区分で行ったため、その区分ごとの回収率となります。

項目1 市議会に関する基本的な事項について

問4 上越市議会議員選挙に投票したことがありますか。（どちらかに○）

N = 143

1	ある	131
		91.6%
2	ない	9
		6.3%
-	無回答	3
		2.1%



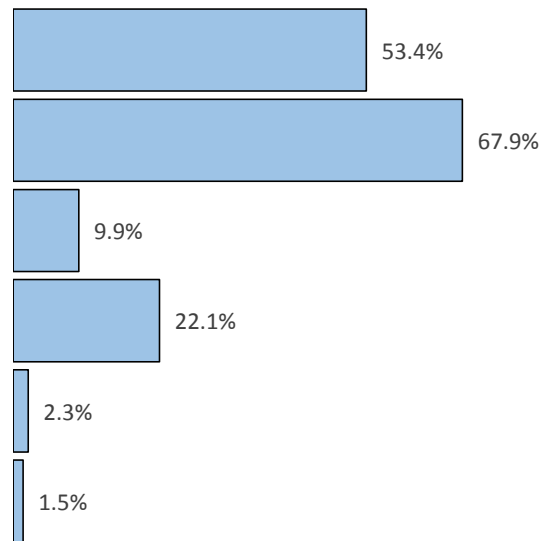
【問4ー集計結果から把握できること】

「なし」には、転勤族の方も含まれているようで、回答いただいた方は、ほぼ投票している。少なくとも回答いただいた方は、選挙に何らかの関心をお持ちと判断できる。

問4-1 【問4であると回答した方】投票した理由は何ですか。（当てはまるもの全てに○）

N = 131

1	上越市をよくしていくために必要だから	70
		53.4%
2	市民としての権利を行使すべきだから	89
		67.9%
3	議会や市政に興味があるから	13
		9.9%
4	支持する候補者がいるから	29
		22.1%
5	その他	3
		2.3%
-	無回答	2
		1.5%



【その他記載内容】

・ 義務：1人 ・ 人や職場で頼まれた：2人

【問4-1ー集計結果から把握できること】

「上越市をよくしていくために必要だから」、「市民としての権利を行使すべきだから」という回答は前向きであり、高い意識を持った市民が多い傾向が見られる。

【今後の議会運営等への対応手法】

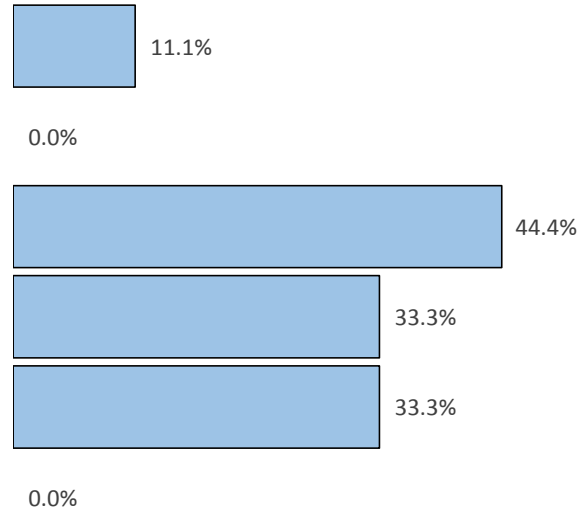
9割超が市議会議員選挙に投票し、「上越を良くするためには、市議会議員選挙に投票すべきだ」という意識も浸透していると考えられる。市議会としてはさらに「上越市をよくしていく」努力をし、それを市民と共有する必要がある。一方、支持する候補者がいるからという理由は低く、議員個人々々として、市民と交流し「顔の見える」状態へさらに向かう必要がある。

問4-2

【問4でないと回答した方】投票しなかった理由は何ですか。
(当てはまるもの全てに○)

N = 9

1	投票しても暮らしがよくなることはないから	1	11.1%
2	自分1人が投票しなくても何の影響もないから	0	0.0%
3	議会や市政に興味がないから	4	44.4%
4	候補者の政策や人柄を知らないから	3	33.3%
5	その他	3	33.3%
-	無回答	0	0.0%



【その他記載内容】

(全て転出入にともなう記載)

【問4-2ー集計結果から把握できること】

「議会や市政に興味がない」「候補者の政策や人柄を知らない」という回答が多く、日々の活動が知られていないのではと考えられる。(ただし母数が多くないことに留意)

【今後の議会運営等への対応手法】

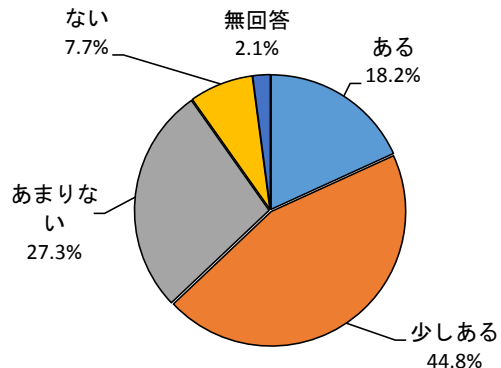
議会や市政に興味がない、候補者の政策や人柄を知らない等の回答が多いことから議員及び議会の「見える化」が必要と考える。

問5

市議会に関心がありますか。(1つだけ○)

N = 143

1	ある	26	18.2%
2	少しある	64	44.8%
3	あまりない	39	27.3%
4	ない	11	7.7%
-	無回答	3	2.1%



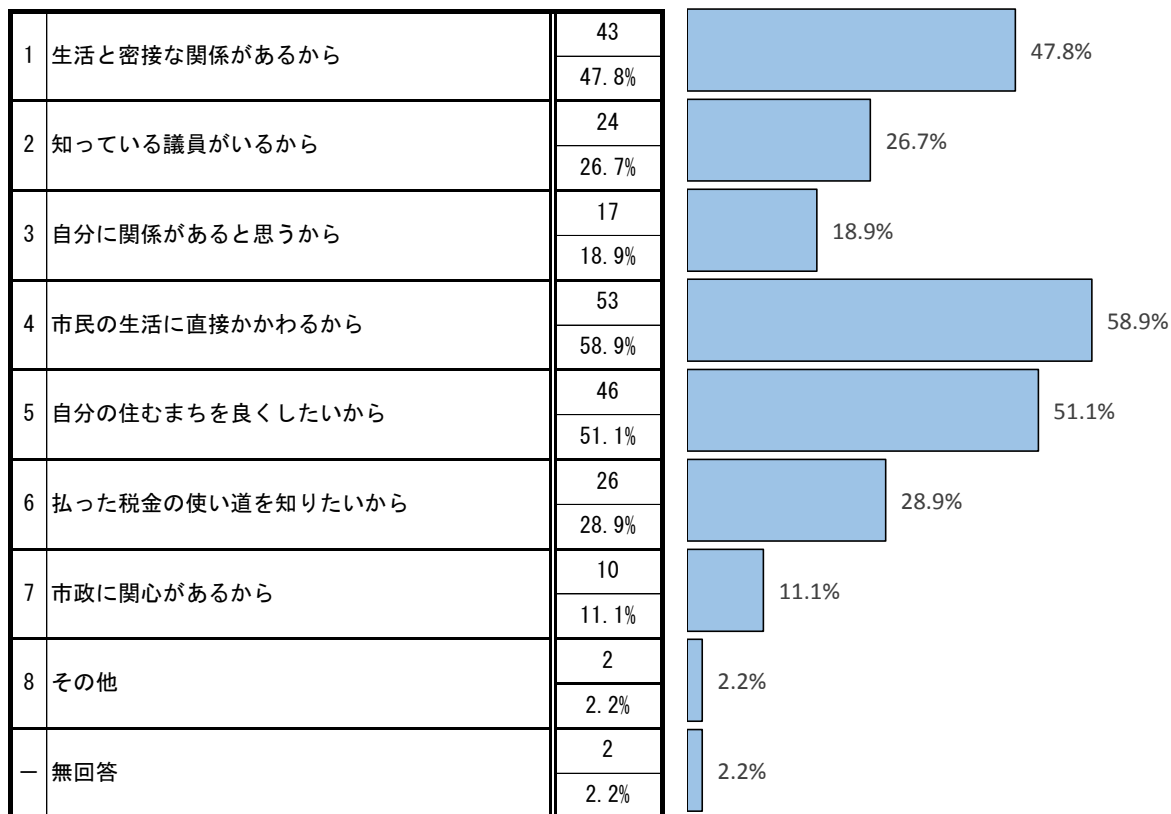
【問5ー集計結果から把握できること】

全回答のうち6割強が「ある」、「少しある」であり、回答いただいた方は関心を持っている。

問5-1

【問5で①、②と回答された方】関心がある理由は何ですか。
(当てはまるもの全てに○)

N = 90



【その他記載内容】

- ・広報誌でも紹介されていて興味を持っている。

【問5-1ー集計結果から把握できること】

「生活との関わり」、「まちを良くしたい」が多く、身近な課題への対応に関心がもたれている。

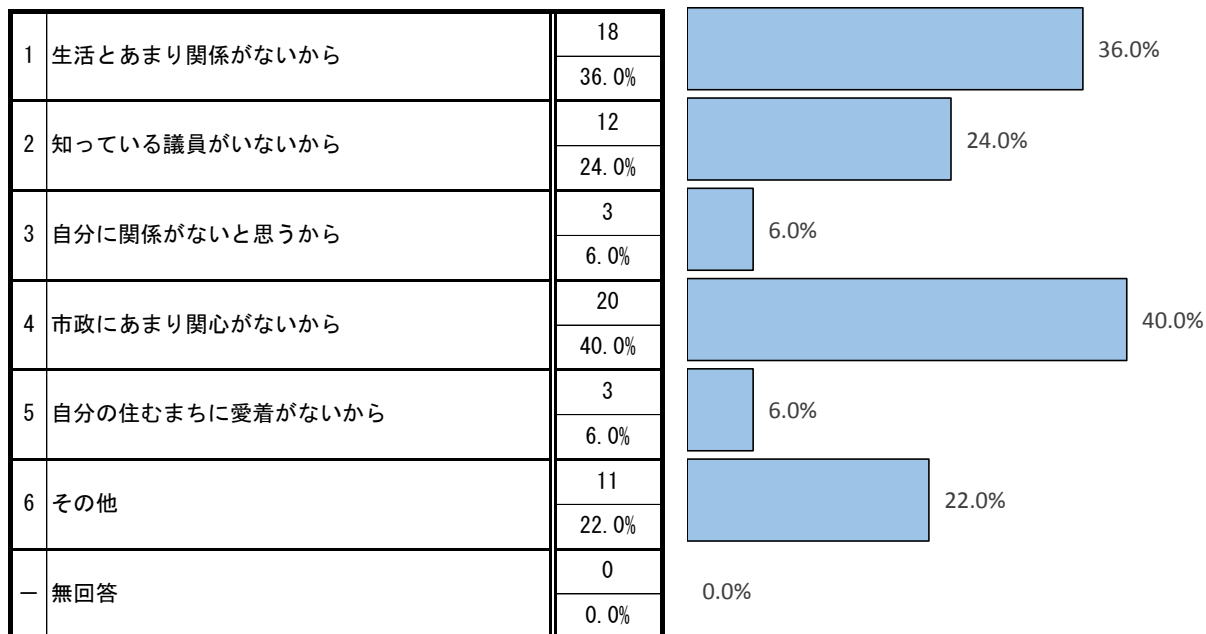
【今後の議会運営等への対応手法】

市議会として、今後も「市民」と「市民の生活」に関する事業等への取組を一層強化しなければならない。議員活動がパフォーマンスになりがちと言われないように、きめ細かな議会活動が求められている。

問5-2

【問5で③、④と回答された方】関心がない理由は何ですか。
(当てはまるもの全てに○)

N = 50



【その他記載内容】

- ・ どうして上越と合併したのか疑問に思っているから。
- ・ 市議会や議員は何をしているかわからない。
- ・ どの議員でも同じ、声が届いているのか疑問、議員が無能、市政がよくなるない。
- ・ 市全体をみている議員がどれほどいるのか。

【問5-2ー集計結果から把握できること】

市議会の活動が、市民生活に密接に関わりがあることを理解いただいていない。

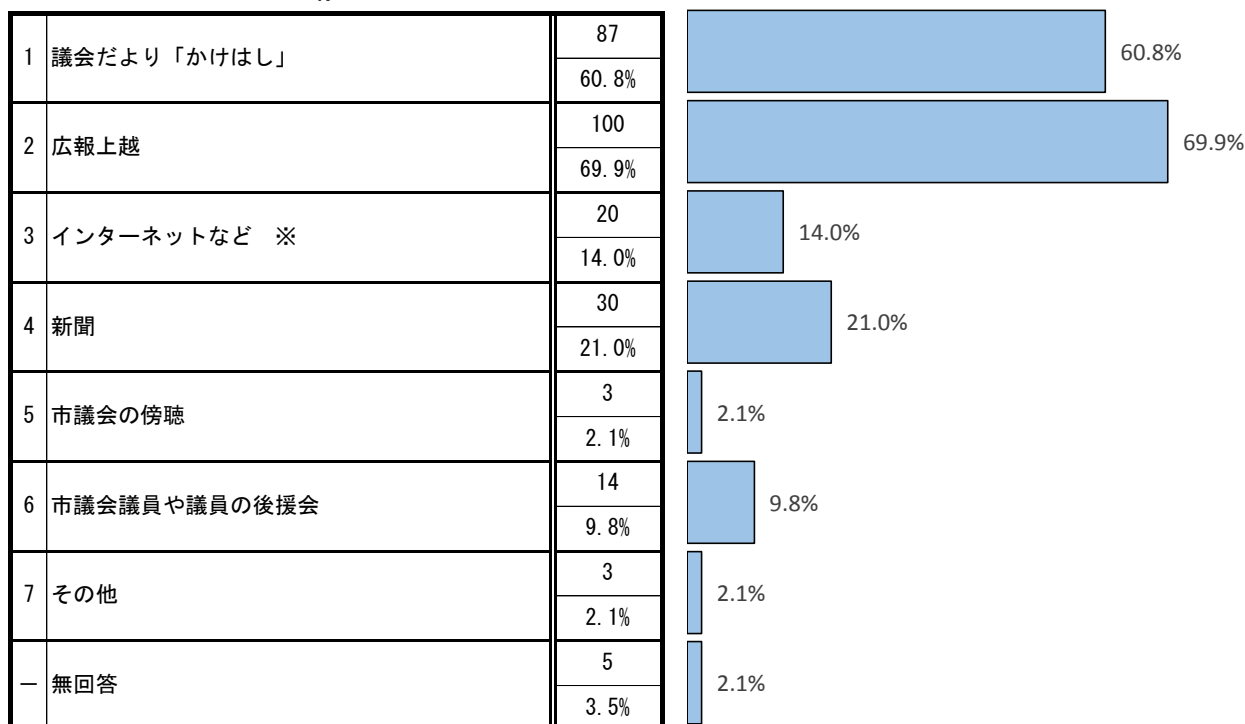
【今後の議会運営等への対応手法】

議員及び議会の役割や活動が市民生活に密接に関わりのあることを、さらに理解してもらうよう努力するとともに「見える化」が必要と考える。

問6

市議会に関する情報を何から知ることが多いですか。（当てはまるもの全てに○）

N = 143



※市や市議会のホームページ、インターネット議会または委員会中継、上越ケーブルビジョン、市議会フェイスブック、有線放送、会議録検索

【その他記載内容】

・友人：1人 ・知る項目自体ない：2人

【問6—集計結果から把握できること】

議会だより「かけはし」と広報上越は情報源として機能していると考えられる。なお、議会だよりと広報上越を混同している方もいると思われる。

インターネット、テレビ中継、新聞といった媒体にも一定数の回答がある。

【今後の議会運営等への対応手法】

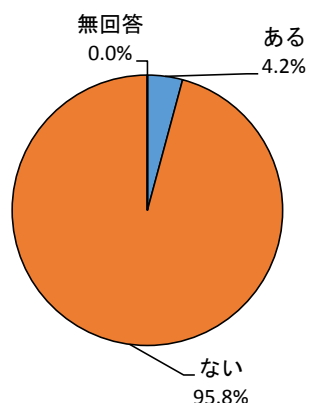
市議会としては、「かけはし」をより見やすく、より情報が市民に伝わりやすくするなど、一層広報に力を入れていく。インターネットでは、中継やホームページでの議事録閲覧、フェイスブックなどを既に行っているところだが、さらにアクセス数を増やす努力が必要であり、また、議員個人の情報伝達の努力も必要である。

問7

市議会を傍聴したことがありますか。(どちらかに○)

N = 143

1	ある	6
		4.2%
2	ない	137
		95.8%
-	無回答	0
		0.0%



【問7ー集計結果から把握できること】

問5において関心があると回答した方が多いにも関わらず、傍聴の経験者はわずかである。

【今後の議会運営等への対応手法】 (この設問への対応手法を追加)

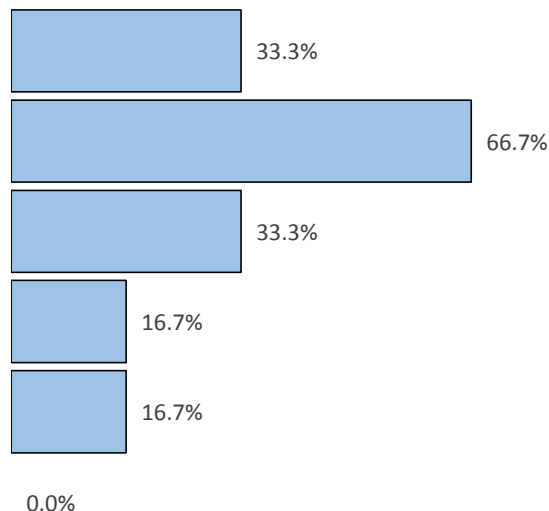
議会を傍聴する意味や価値を知ってもらうよう努力する。

問7-1

【問7であると回答された方】傍聴した理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

N = 6

1	議会に関心があるから	2
		33.3%
2	提案の議案に関心があるから	4
		66.7%
3	応援する議員に誘われたから	2
		33.3%
4	請願・陳情の審査に関心があるから	1
		16.7%
5	その他	1
		16.7%
-	無回答	0
		0.0%



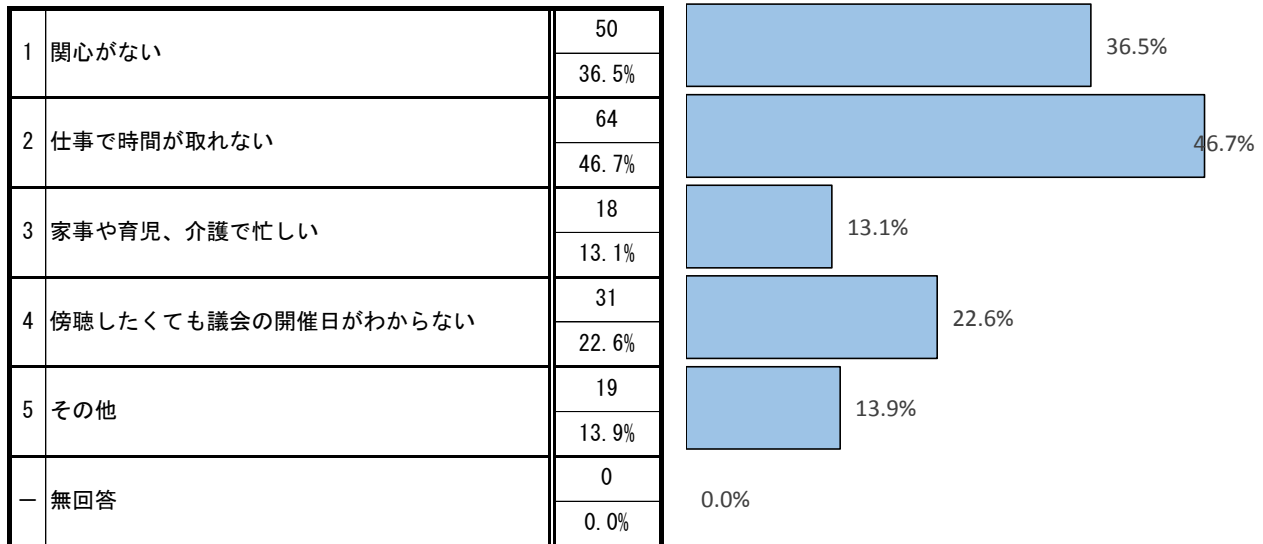
【問7-1ー集計結果から把握できること】

回答者数が6人であり、統計的に分析は難しい。

問7-2

【問7でないと回答された方】傍聴したことがない理由は何ですか。（当てはまるもの全てに○）

N = 137



【その他記載内容】

- ・自力で移動できない。遠いなどが数件。
- ・傍聴できることを知らなかった。
- ・関心のある議論が行われていない。
- ・各媒体でわかる。
- ・関心がない。

【問7-2ー集計結果から把握できること】

仕事で時間が取れないとの回答がもっとも多く、また、「家庭や育児、介護で忙しい」、「開催日がわからない」などの回答も多かった。

【今後の議会運営等への対応手法】
（問8の【対応手法】にまとめた）

問8

どのような工夫がされれば、議会を傍聴する方が増えると考えますか。ご意見をおきかせてください。

- ・仕事をしている人でも聞きに行ける仕組み作り。
- ・土日、夜間開催など。
- ・「早くから日程を」、「日程がわからない」、「広報、CMで日程周知を」など。
- ・送迎あれば 各区年1回バスを出したら など。
- ・傍聴することで何がわかるかの発信。
- ・傍聴方法の周知、希望者を募る(行ってみたい人は多くいる)、関心をもってもらうために地域ごとに参加人数を決める。
- ・議論される内容の周知、地域に関する議題の日を周知。
- ・審議内容を絞り込み、簡素に行うことも大切。
- ・若者が聞いて意味のある内容に。
- ・傍聴する人を増やそうとする理由は？必ずしも議会に関心がないから少ないわけではないのでは。
- ・形式的な討論で面白くない、自由な発想での運営。
- ・議員が議会でどのような発言をし、また活動しているかが市民に伝わっていない。
- ・本気で上越市がよくなるよう、取り組む議員がいるようなら傍聴したい。
- ・少し敷居が高い。気後れします。身近なものとなしてほしい。
- ・議員は市民の代表であることを自覚し、時には行政と激しく意見対立する等、信念を持って議員活動をする姿を見せること。
- ・傍聴ツアーみたいな日程を組むとか、ついでに市政に関する場所の見学、講義など。

【問8ー集計結果から把握できること】

65件の記載があった。この設問では記載例をあげたので、「仕事や育児で時間がない」、「開催時間のあり方」、「市民に知られていない」などの意見が多くみられた。

【今後の議会運営等への対応手法】

「仕事で時間が取れない」や「家事や育児、介護で忙しい」、「傍聴したくても議会の開催日がわからない」ということであるから、

- ①議会開催日の周知方法の検討
- ②土日曜・夜間あるいは出張議会

などの研究を重ねる必要がある。

また、問7でも触れたが、議会を傍聴する意味や価値を伝えていくことも必要である。

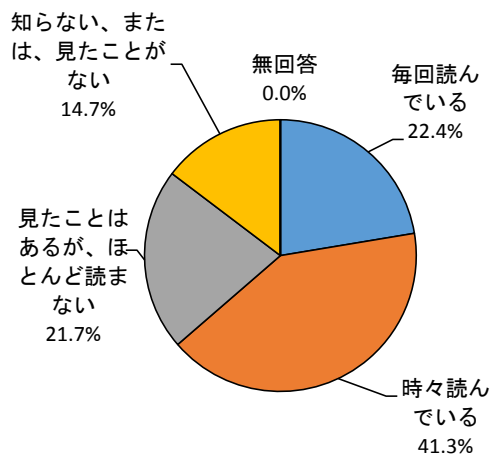
項目2 市議会だより、ホームページ、 インターネット議会中継について

問9

上越市議会だより「かけはし」（年4回発行、以下「かけはし」と記載）をお読みになっていますか。（1つだけ○）

N = 143

1	毎回読んでいる	32
		22.4%
2	時々読んでいる	59
		41.3%
3	見たことはあるが、ほとんど読まない	31
		21.7%
4	知らない、または、見たことがない	21
		14.7%
-	無回答	0
		0.0%



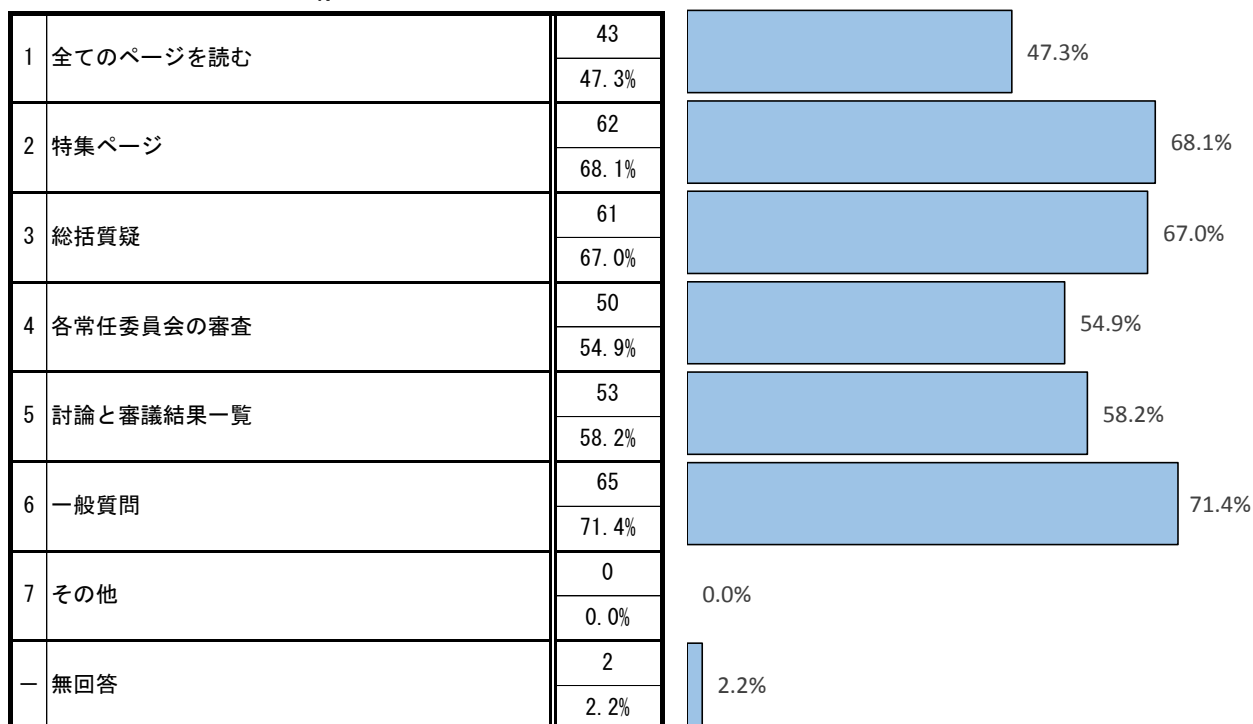
【問9－集計結果から把握できること】

3人に2人の市民には読んでもらっているが、ほとんど読まないといった市民が3割となっている。

問9-1

【問9で①, ②と回答された方】「かけはし」のどんな記事を読みますか。

N = 91



※選択肢2～6の人数は、選択肢1の人数を含む。

【問9-1ー集計結果から把握できること】

一般質問の記事が最も読まれており、関心を持たれていることがわかるが、各ページでの差はほぼないという見方もできる。

【今後の議会運営等への対応手法】

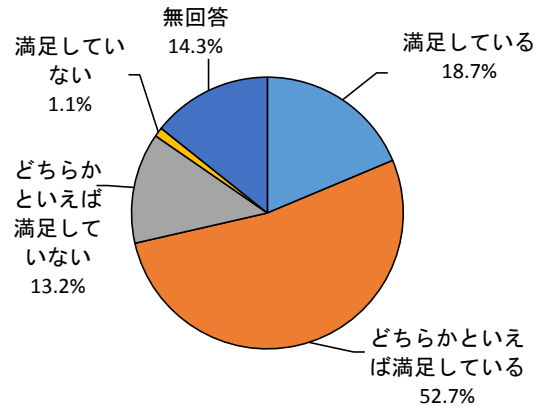
一般質問のページのあり方への検討とともに、特集記事や総括質疑のページもさらに工夫していく。

問9-2

【問9で①, ②と回答された方】「かけはし」の文書に分かりやすさについて満足していますか。(1つだけ○)

N = 91

1	満足している	17	18.7%
2	どちらかといえば満足している	48	52.7%
3	どちらかといえば満足していない	12	13.2%
4	満足していない	1	1.1%
-	無回答	13	14.3%



【その他記載内容】

・つまらない。 ・普通でありどちらでもない。

【問9-2ー集計結果から把握できること】

「満足している」、「どちらかといえば満足している」が7割を占め、評価は高いといえる。

【今後の議会運営等への対応手法】

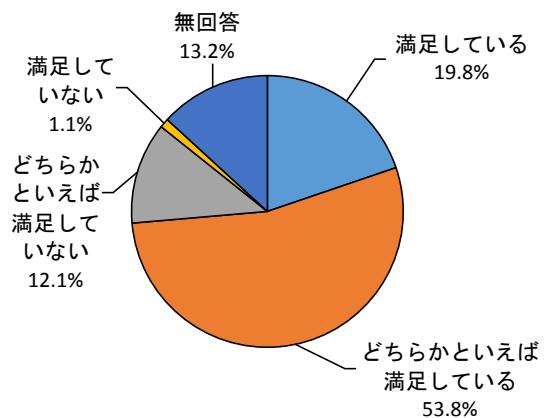
今後も広報広聴委員会で研さんし、より一層見やすく、内容の充実した紙面づくりを進めていく。

問9-3

【問9で①, ②と回答された方】「かけはし」の記事や写真の配置・デザインの見やすさについて満足していますか。(1つだけ○)

N = 91

1	満足している	18	19.8%
2	どちらかといえば満足している	49	53.8%
3	どちらかといえば満足していない	11	12.1%
4	満足していない	1	1.1%
-	無回答	12	13.2%



【その他記載内容】

・字が小さい。 ・費用が掛かりすぎ。(←カラーやページ数の意ではないか)

【問9-3ー集計結果から把握できること】

文章への評価と同様に、写真の配置・デザインの見やすさについても評価は高い。

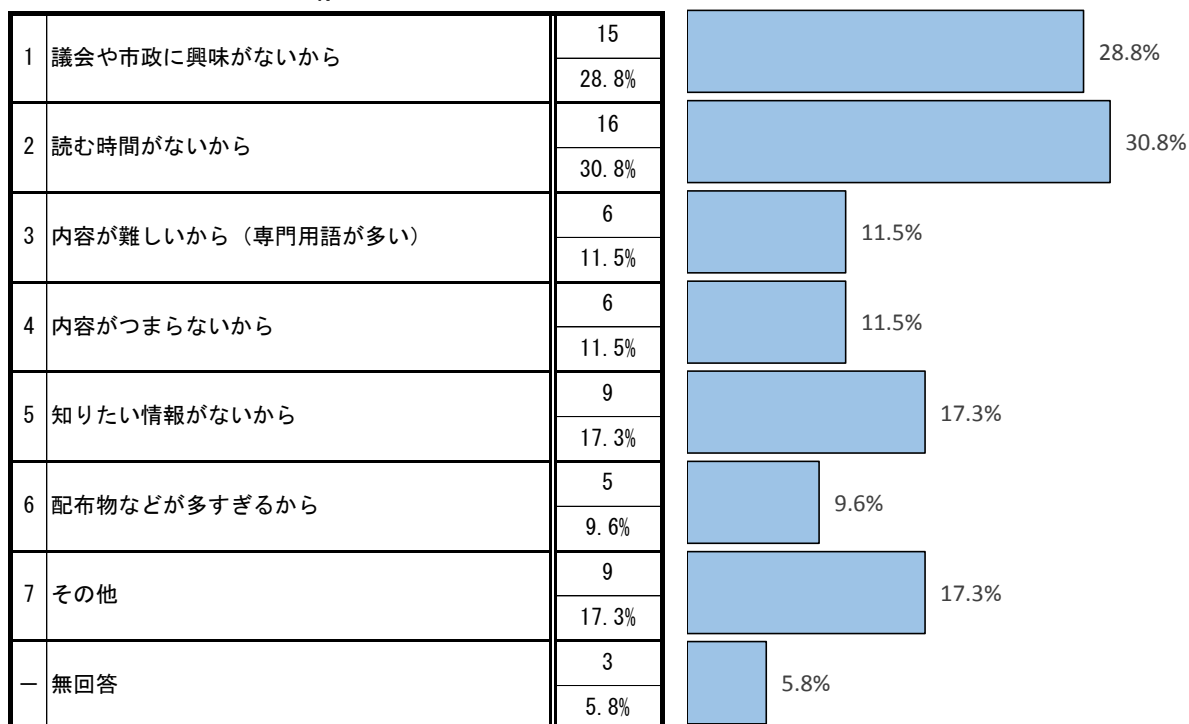
【今後の議会運営等への対応手法】

特集記事などで工夫を重ね、より一層親しみやすい「かけはし」にしていく。

問9-4

【問9で③、④と回答された方】「かけはし」を読まない理由は何ですか。(当てはまる全てに○)

N = 52



※選択肢2～6の人数は、選択肢1の人数を含む。

【その他記載内容】

大半が、みたことがない、配布されているかわからない など

【問9-4—集計結果から把握できること】

根本的に議会や市政に興味がないと考えられる。

【今後の議会運営等への対応手法】

市議会として、より読みやすい誌面にし、市民に有用な情報を的確に伝えるなどにより、「かけはし」をさらに多くの市民に読んでもらえるよう努力する。あわせて広報上越に、「かけはし」へ市民を誘導する広告的なページを毎回設けてもらうという手段も考えられる。

また、根本的には、議会活動を通じて議会や市政に関心を持っていただけるよう努力する。

問10

「かけはし」は、議会の情報を市民にお届けする手段として必要だと思いますか。ご意見をお聞かせください。

(今後の参考となりそうな少数意見など)

- ・もう少し見やすい工夫があればいいと思います。
- ・多くの配布物の中、目を引かないと読まない。段組み、文字種など工夫を。
- ・頁数を少なくしてまとめて読みやすく。
- ・もっとわかりやすく、堅い、難しい。
- ・盛り沢山でなくていいので、大きな活字でわかりやすい内容にしてほしい。
- ・議会活動が認知されていないため必要。
- ・関心のない人が触れる機会になるため、全世帯に紙ベース配布は継続すべき。
- ・こうしたものは何かしら必要である。4回がいいのかわからない。
- ・転勤族の一人としては、住民票の手続き等に役所へ行った際にも、目につく場所に置いておいてもらえれば手に取ることもあるかもしれない。

【問10—集計結果から把握できること】

多くは必要との意見(年齢が高めの方向けに必要など)だった。
ただし、不要という意見も若干あった。

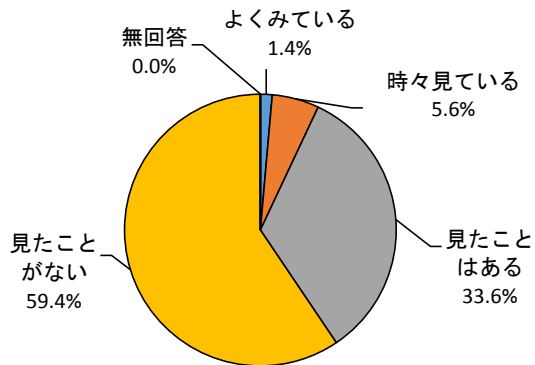
【今後の議会運営等への対応手法】

誌面への工夫をしてほしいというご意見には、それぞれの記事の文章、デザイン、表紙等を工夫する。
議会を知っていただく手段としての認知度はあるので、高齢者にも読んでもらいやすくするため、活字を大きくする、写真を多くする等、「かけはし」をより見やすくする必要がある。

問11 市議会の中継をご覧になったことがありますか。（1つだけ○）

N = 143

1	よくみている	2	1.4%
2	時々見ている	8	5.6%
3	見たことはある	48	33.6%
4	見たことがない	85	59.4%
—	無回答	0	0.0%

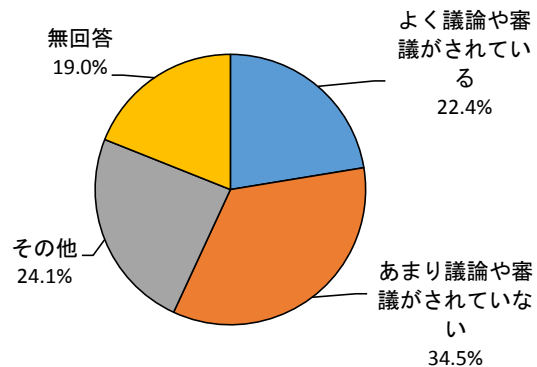


【問11—集計結果から把握できること】
4割は見たことがあるとの回答であり、関心をもっていたている。

問11-1 【問11で①～③と回答された方】 ご覧になった感想をお聞かせください。（1つだけ○）

N = 58

1	よく議論や審議がされている	13	22.4%
2	あまり議論や審議がされていない	20	34.5%
3	その他	14	24.1%
—	無回答	11	19.0%



【その他記載内容】

- ・あまり活気がないように見えた。 ・質問と答えが決まっているような感じ。
- ・真面目だがつまらない。 ・決まりきったやりとり。 ・儀式的で革新的な発想なし。 など

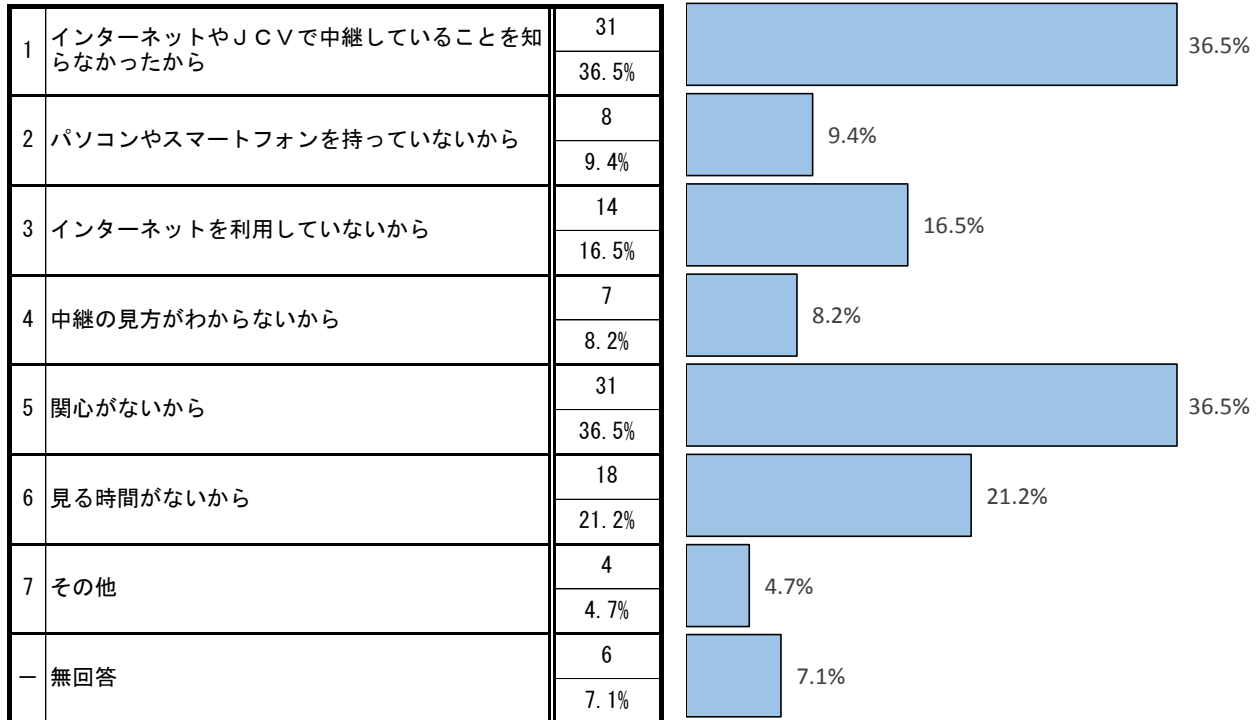
【問11-1—集計結果から把握できること】
その他の回答も含め、「議論や審議があまりされていないのではないか」という声が多い。

【今後の議会運営等への対応手法】
議案審議の精度を上げ充実をはかるため、委員個々の専門性を高めるとともに、会派としても互いに補完し合い高めていく。さらに委員会での議員間討議、会派などの事前学習での要点整理などを行う必要がある。

問11-2

【問11で④と回答された方】中継をご覧になったことがない理由をお聞かせください。
(当てはまるもの全てに○)

N = 85



【その他記載内容】

・ JCVない：2人 ・ いつかわからない：1人 ・ 議会報でわかる：1人

【問11-2—集計結果から把握できること】

「インターネットやJCVで中継していることを知らなかったから」、「関心がないから」という意見が多かった。

なお、自分の地域にJCVがあればという意見が2件あった。

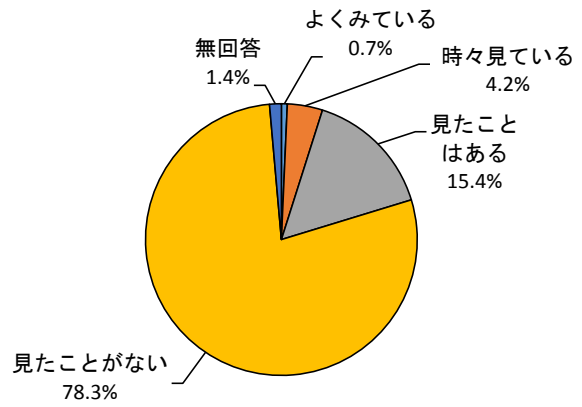
【今後の議会運営等への対応手法】

「かけはし」等により、JCVやインターネットでの中継について、市民に伝える。
また、関心のない方には、普段の議会活動をより伝えなければならない。

問12 市議会のホームページをご覧になったことがありますか。（1つだけ○）

N = 143

1	よくみている	1	0.7%
2	時々見ている	6	4.2%
3	見たことはある	22	15.4%
4	見たことがない	112	78.3%
-	無回答	2	1.4%



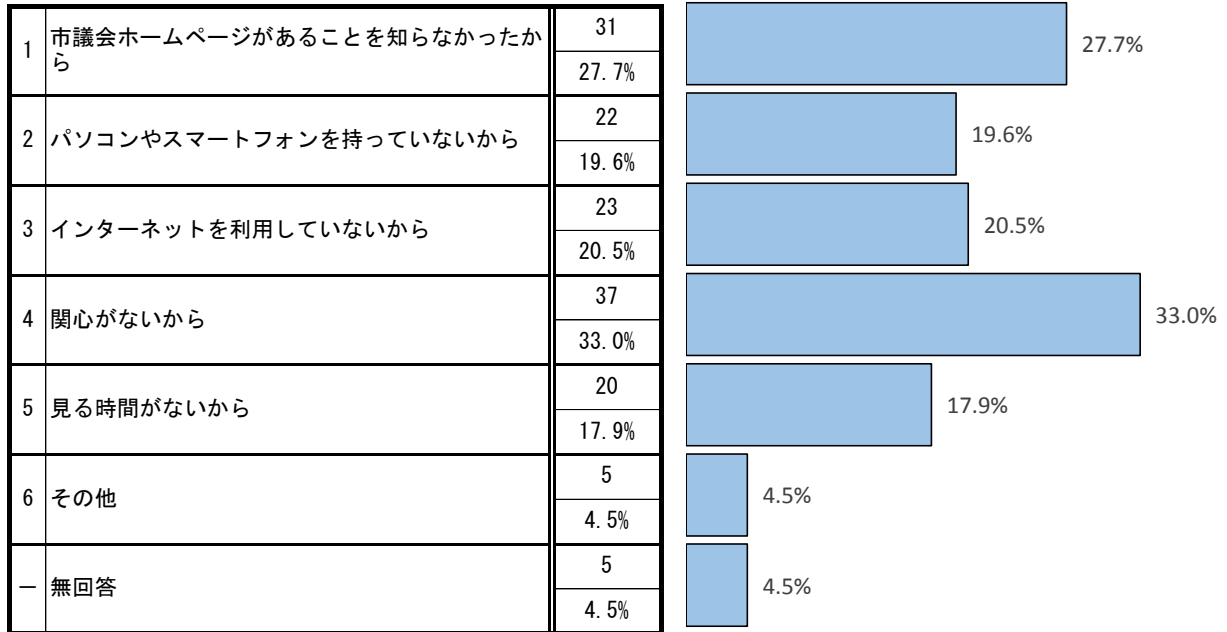
【問12－集計結果から把握できること】

8割近い方々がホームページを見たことがないと回答している。年齢が高めの回答者が比較的多く、閲覧する環境にないと推測される。

問12-1

【問12で④と回答された方】ご覧になったことがない理由をお聞かせください。（当てはまるもの全てに○）

N = 112



【その他記載内容】

選択肢とほぼ同様な記載のみ

【問12-1ー集計結果から把握できること】

「関心がない」が最も多い。

また、「パソコンやスマートフォンを持っていない」、「インターネットを利用していない」という回答については、年齢が高めの回答者が比較的多いことも原因と考えられる。

【今後の議会運営等への対応手法】

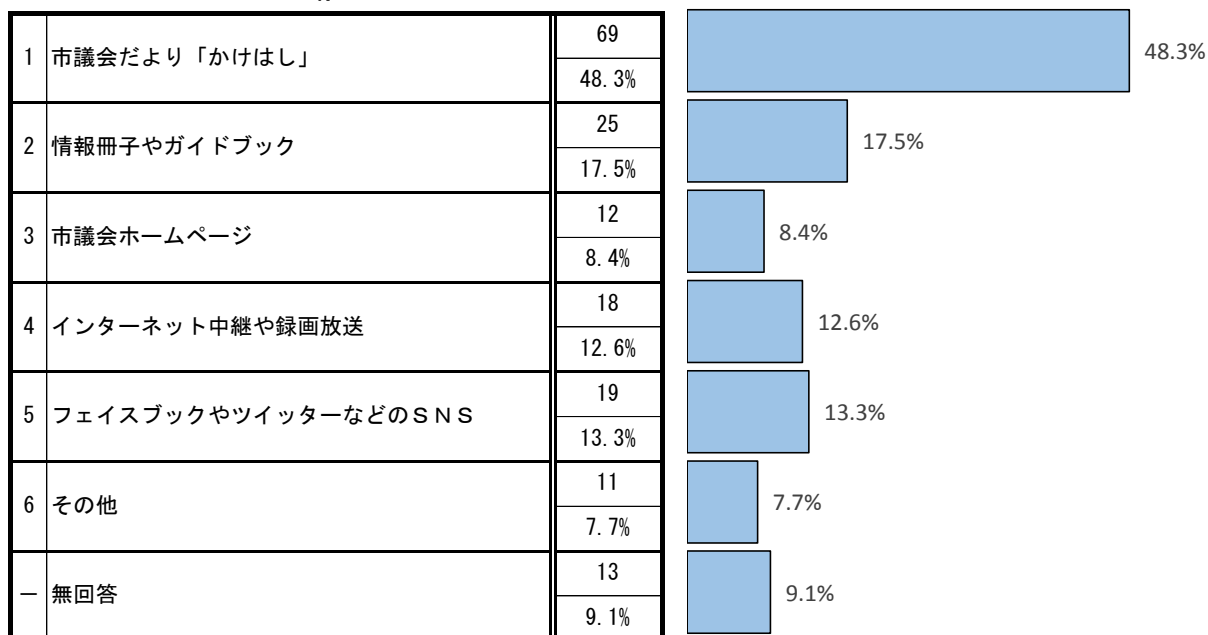
関心がない方には、普段の議会活動の中でホームページの存在を知らしめていく。あわせて、「かけはし」は一定数読まれていることから、その中でもホームページについて伝える。

先の「市議を目指しやすい環境整備検討会」の提言にあるように、市議会のホームページは、上越市のホームページの中にあり、単なる1部局として埋没しているように見える。市議会として、市議会独自のホームページ構築も検討していく。

問13

力を入れてほしい情報発信の方法をお聞かせください。

N = 143



【その他記載内容】

- ・夜に町内会館等で話を聞きたい。文書では「心を打たない」直接話を聞ければ一番よい。
- ・JCVを浦川原でも、JCVやラジオなど。
- ・無料のタウン誌をよく見る。そこはどうか。
- ・報告会・意見交換会。

【問13—集計結果から把握できること】

「かけはし」が圧倒的に多く、他の情報発信の媒体については、一定の回答数はあるが、少ない。

【今後の議会運営等への対応手法】

半数の方が、市議会だより「かけはし」から情報を得ていることから、さらに注目される内容の充実に努めるとともに「親しみと見やすさ」への取組みを広報広聴委員会で検討する。選択肢3～5も一定の情報源となっていることから、その充実に努める。

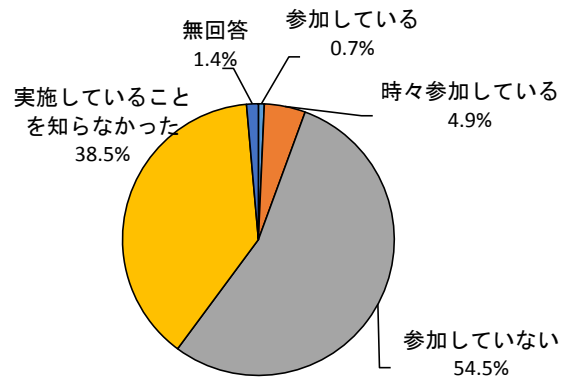
また、選択肢2「情報冊子やガイドブック」の回答が高いのは、選択肢3～5になじみのない人の回答と推測されることから、「みんなの上越市議会」の、各総合事務所など公共施設への設置や町内会への回覧などを検討したい。

項目3 議会報告会・意見交換会について

問14 議会では、議会報告会・意見交換会を実施していますが、参加されたことはありますか。
(1つに○)

N = 143

1	参加している	1	0.7%
2	時々参加している	7	4.9%
3	参加していない	78	54.5%
4	実施していることを知らなかった	55	38.5%
-	無回答	2	1.4%



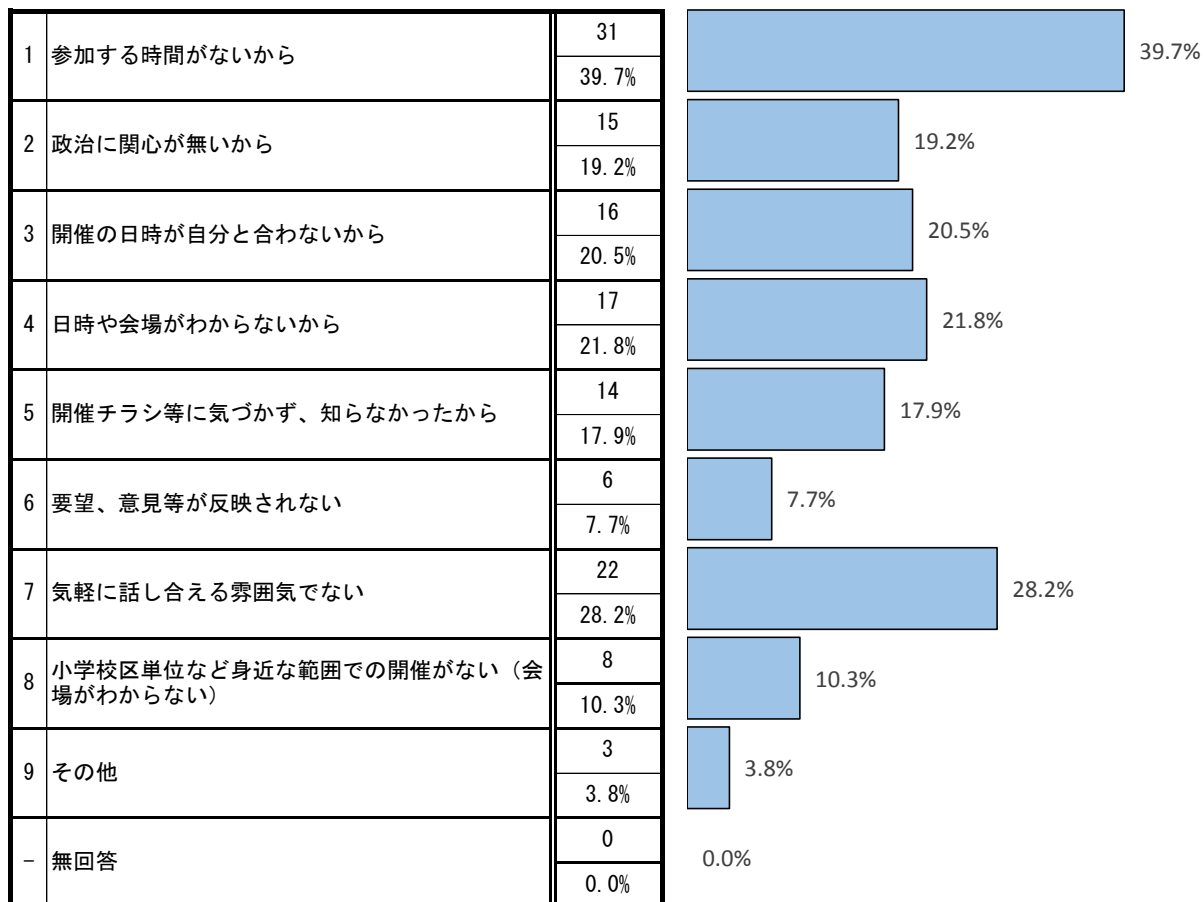
【問14ー集計結果から把握できること】

回答者の中では、参加はほとんどない。「実施していることを知らなかった」が約4割に達しており、周知できているとはいえない。

問14-1

【問14で③と回答された方】参加していない理由をお聞かせください。（当てはまるもの全てに○）

N = 78



【その他記載内容】

・行く手段がない。・議会内容は議会報でわかる。・出れるほど自分の意見がまとまらない。

【問14-1ー集計結果から把握できること】

「参加する時間がない」という回答が最も多く、「気軽に話し合える雰囲気でない」、「要望、意見等が反映されない」など、そのあり方に対する疑問も垣間見える。

【今後の議会運営等への対応手法】

参加できる時間がないという回答が約4割を占めている。休日の昼間にも開催しているが参加者が増える結果は出ていない。このことは、「参加できる時間がない」というよりは、「関心がないこと」が要因として考えられる。よって普段の議会活動の市民への周知などに努力する必要がある。
また、あわせて、気軽に参加できることを伝える必要がある。

問15	<p>問15 議会報告会・意見交換会の開催場所、回数、開始日時についてどう思うか、お聞かせください。</p> <p>(現在の開催状況)</p> <p>○開催場所及び回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併前上越市区域：北部区域、中部区域、南部区域のうち1か所を2年に1回 ・13区：各区にて2年に1回 <p>○日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日19時(2年で延べ12回) ・日曜午後(2年で延べ4回)
-----	---

(記述意見)

- ・今のままでよい(同様の記載が多数あり)。
- ・日曜日は割と予定が入っている。土曜日の方が良い。
- ・この回数では意見交換が本当にできるとは思えない。準備が大事になると思う。
- ・希望日時:平日19時~(2か月に1回) 地域設定:もっと細かく
- ・各区毎年、13区で日曜午後、各区にて2年に1回(日曜午後)、13区は最低年1回。
- ・1年に2回くらい町内単位(地元)で。
- ・回数は年1回程度でどうか。
- ・回数が少ない。
- ・昼間働く人に合わせているように感じる。
- ・人の集まりやすい場所、例えばショッピングセンターみたいな場所。

【問15—集計結果から把握できること】

現状でよいという回答も多いが、市民の生活の多様性があり、様々な意見があった。

【今後の議会運営等への対応手法】

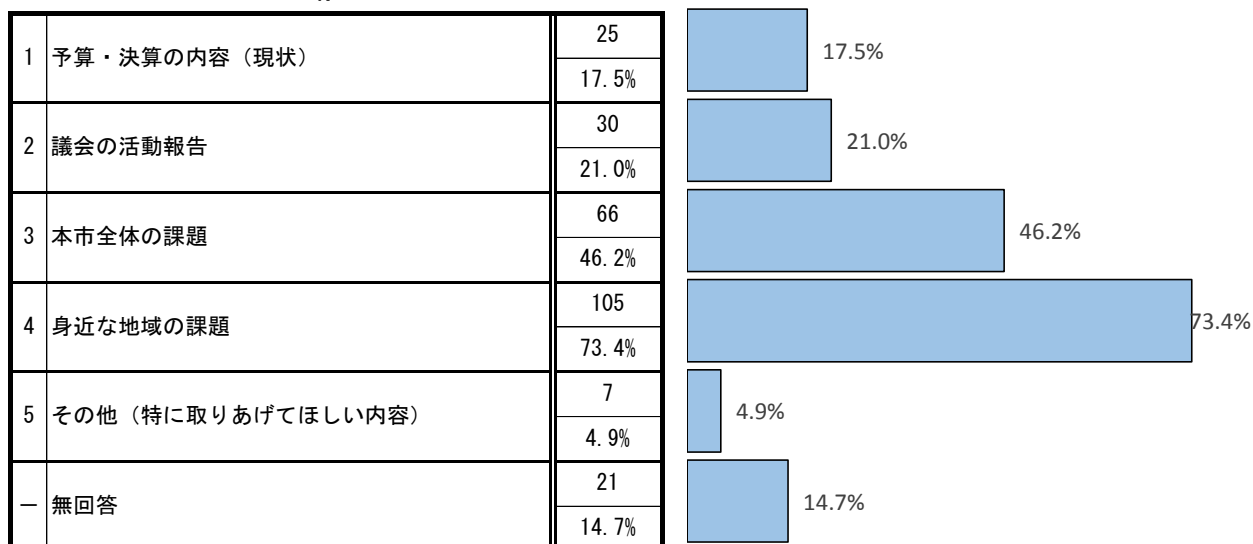
長年続けてきた議会報告会・意見交換会のあり方は存続すべきだが、現状では、今回いただいた「開催場所、開催日時」などの意見を尊重して開催したとしても、多くの市民の参加は期待できないと考えられるため、内容、方法等の議論が必要である。

例えば、①市民が注目しているテーマに絞って行う、②町内会長連絡協議会や各種団体と協議し開催する、など様々な工夫が考えられる。現在、各常任委員会がそのような意見交換会を行っているように、更なる発展を考えていく。

問16

議会報告会・意見交換会に、どのような内容があればと思いますか。
(当てはまるもの全てに○)

N = 143



【その他記載内容】

- ・ 予算や決算に興味はない。市の観光地化、日本中に知ってもらいたい。
- ・ 空き家問題
- ・ 福祉関係、高齢者の運転について、高齢化対策（車なしで生活できる街づくり）
- ・ このアンケートの結果
- ・ 区の将来像：総合事務所長は年功序列の2年前後で代わっているようだが、これでは区の将来像は描けない。本庁としてはただの市民の窓口として考えているだけか。

【問16—集計結果から把握できること】

「身近な地域の課題」が多く、次に「本市全体の課題」が続いている。それに対し、「議会の活動報告」が少ない点について分析していく必要がある。

【今後の議会運営等への対応手法】

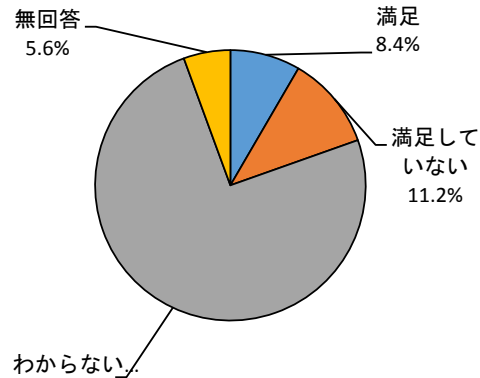
市議会として、市全体の課題とともに、開催場所にとって身近な案件を把握している必要がある。そのためにも事前にしっかりと様々な情報を頭に入れておく必要がある。

項目4 議員の活動について

問17 市議会及び市議会議員の活動に満足していますか。(1つだけ○)

N = 143

1	満足	12	8.4%
2	満足していない	16	11.2%
3	わからない	107	74.8%
-	無回答	8	5.6%



【問17ー集計結果から把握できること】

「満足していない」と「わからない」が8割を超え、「満足」という回答が1割にも満たない。

【今後の議会運営等への対応手法】

議会への無関心や議員への不満が垣間見える。喫緊の課題として議員及び議会活動の「見える化」が必要である。

問17-1 【問17で②と回答された方】 ご意見をお聞かせください。

- ・無駄と思われる事業や箱ものを認め、真に市の発展となる事業提案がなされていない。
- ・意見をどのようにしたのかわからない。反映の実感がない。
- ・自分の周りには変化がない。私たちの生活に関わっていない。身近に感じられない。
- ・何をしているのかわからない。会うことすらない。
- ・議員と接触する機会がない。特に女性は地域の公の場に出る機会が少なく、なおわからない。
- ・出身選挙区の住民に情報を出してもらいたい。
- ・当局の言いなり(行政の手先?という声も)、意見が感じられない。
- ・私利、私欲の無い人が少なすぎるから感動しない。(「多」を「少」に修正しており真意?)
- ・視察ばかりで何も変わらない。住みにくい市になるばかり。

【問17-1ー集計結果から把握できること】

上記のとおり、批判的な記述が多く見える。議員及び議会の活動が伝わっていないと考えられる。

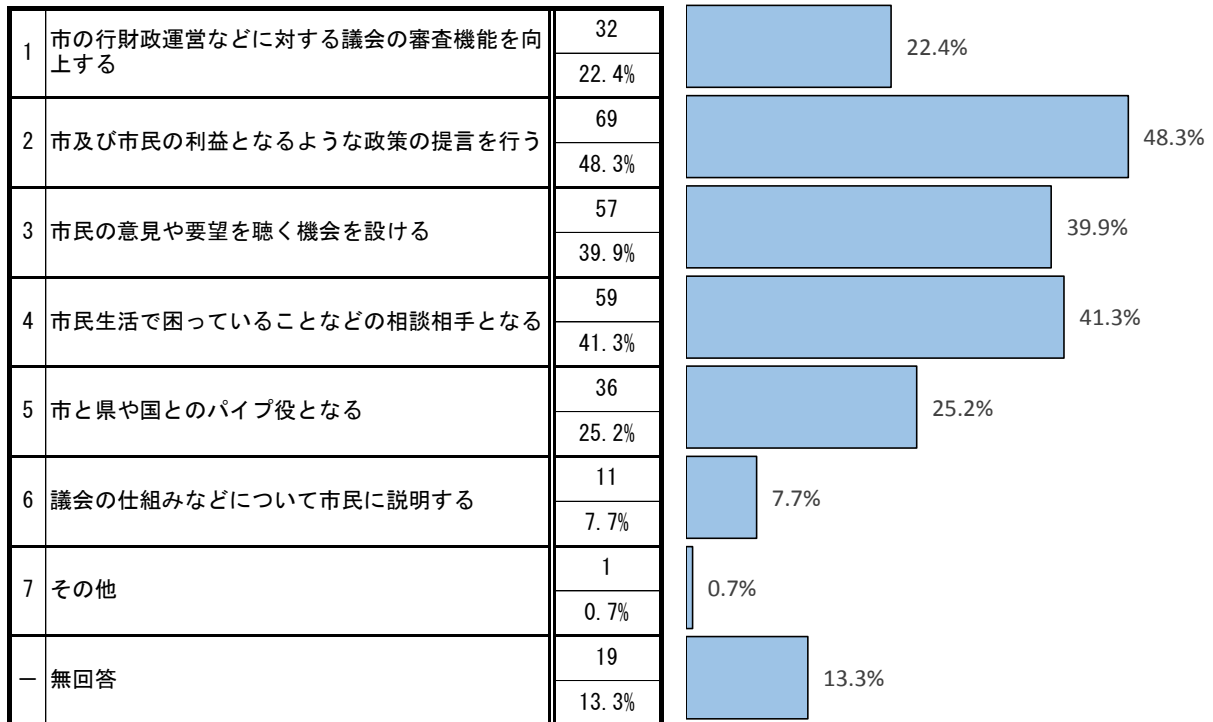
【今後の議会運営等への対応手法】

普段の議員活動において、市民との協働性を高めていき、議員が何をしているかわかるよう、さらに「見える化」を図る。
また、二元代表制の一役を担う存在として、立法などについて理解を深めていく。

問18

市議会や議員により取り組んでほしいことは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

N = 143



【その他記載内容】

- ・長期ビジョンで考え、今までの活動を振り返ってほしい。

【問18—集計結果から把握できること】

選択肢 2, 3, 4 が多く、市民に身近な存在となり、「政策提言を行う」、「市民の声を聞く存在となる」ことなどが求められている。

【今後の議会運営等への対応手法】

より一層政策提言できる議会となることが喫緊の課題である。行政が計画し、実行する施策をしっかりと監視し、より市民の最大多数の利益となるよう、市議会が提言(付帯意見、条例案等も含む)していくことが常態でなくてはならない。

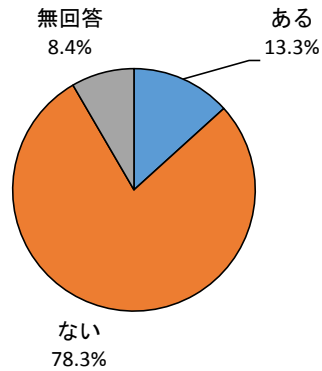
市民の意見要望を聞く機会に関しては、長年にわたり議会報告会・意見交換会等を実施してきたところであるが、さらに改革を進める必要がある。

また、市民の相談相手となるには、議員一人ひとりの努力が望まれる。

問19 市議会議員に意見や要望を伝えたことがありますか。（1つだけ○）

N = 143

1	ある	19	13.3%
2	ない	112	78.3%
-	無回答	12	8.4%



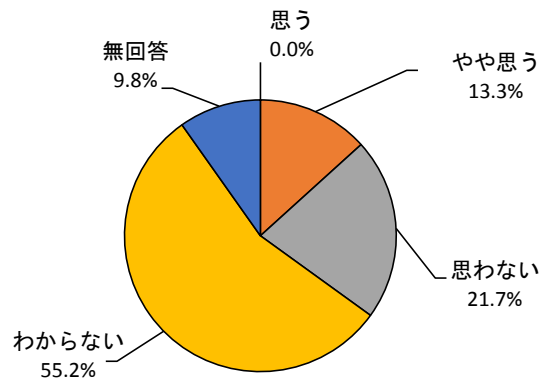
【問19—集計結果から把握できること】
8割近くが「ない」と回答しているが、その一方で、10人に1人は「ある」と回答している。

【今後の議会運営等への対応手法】
議員一人ひとりが市民から意見や要望を気軽に言っていただけるよう不断の努力をするとともに、陳情、請願等の仕方などを「かけはし」に掲載するなどわかりやすく伝える機会を設けていくことが必要である。

問20 あなたの意見や市民の声が市議会に反映されていると思いますか。（1つだけ○）

N = 143

1	思う	0	0.0%
2	やや思う	19	13.3%
3	思わない	31	21.7%
4	わからない	79	55.2%
-	無回答	14	9.8%



【問20—集計結果から把握できること】
「思わない」が2割あったことは課題である。
また、「わからない」の回答が多かったのは、反映プロセスや日々の活動の周知不足が考えられる。

【今後の議会運営等への対応手法】
(問20-1の【対応手法】にまとめた)

- ・声を出す場所、伝え方がわからない。議員との接点がない。
- ・各議員の行動がみえない。市民の声の伝わりが見えない。
- ・議員は成果を表すのが大変だと思うが、あまり反映されているとは思えない。
- ・多数の一人ではないが、でも少しずつ意見を言ってほしいと思う。
- ・自分一人の意見が反映されるとは初めから思っていない。
- ・声の大きい市民でなく、なかなか声をあげられない市民の声を自ら聞くよう努める。
- ・意見を聞いてくださる方はいるが、予算が限られ、即対応が難しいので仕方ない。
- ・職場の誘致を。働く場の選択肢を。
- ・除雪、道路改修など、行政ともどもうまくいっていないなど、道路や除雪について。
- ・高田公園の活用が少ない。公共工事のあり方。
- ・下水の供用が遅いなど、市の経営の優先順位がおかしい。
- ・春日山荘の廃止の噂がある。高齢化に向けてぜひ継続又は代替りの施設を造ってもらいたい。
- ・オーレンプラザの名称、建設場所の決定に不満がある。
- ・大型事業(水族館、大湊アリーナ他)の一般では考えられない予算の増額は行政に押し切られ、職員責任の所在も曖昧。直近では「太刀」購入の不手際、行政側は誰か責任を取ったのか。民間ではありえない収束。
- ・体操アリーナなど本当に市民が必要としているのか。必要性が理解できない施設の建設が目立つと思う。子育て支援、介護の人員確保などに力を入れるべきだと思う。

【問20-1ー集計結果から把握できること】

様々な声が意見として挙げられているが、まず、「議会と接点がない」、「元々期待していない」といった点が課題として浮かび上がっている。

【今後の議会運営等への対応手法】

市民個々の要望などがなかなか反映されないということに対する不満などで、言っても無駄だと思われることも考えられる。市民の声や要望などをしっかり受け止め、議会での発言や行政に伝える議員の姿を「見える化」することが重要であり、市民に気軽に意見をもらえるよう、議員及び議会のあり方が問われている。

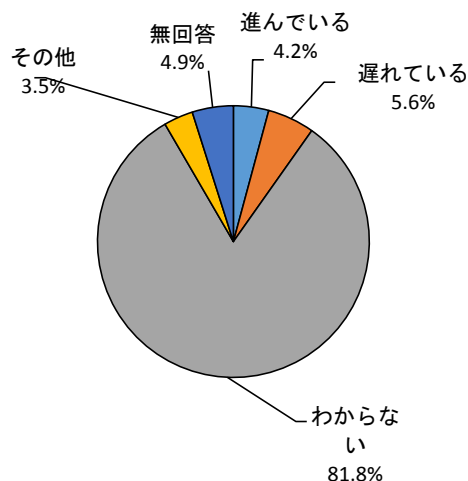
項目5 議会改革について

問21

上越市議会は、全国的な議会改革度調査において毎年上位にランクされており、改革が進んでいるとみられています。どのように感じていますか。（1つだけ○）

N = 143

1	進んでいる	6	4.2%
2	遅れている	8	5.6%
3	わからない	117	81.8%
4	その他	5	3.5%
—	無回答	7	4.9%



【その他記載内容】

- ・ そう思わない。 ・ 実感がない。
- ・ 他市のことがわからないので（比較は）わからない。 ・ 聞いたことがある。

【問21—集計結果から把握できること】

「わからない」が大半であり、関心や認識がないと考えられる。

【今後の議会運営等への対応手法】

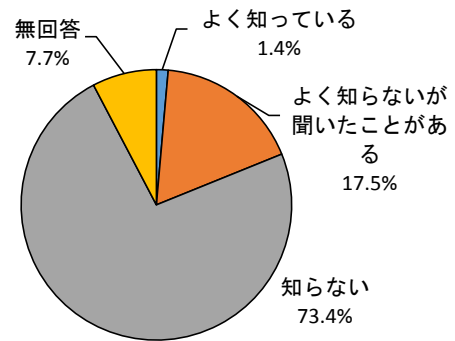
議会改革が市民にどう役立つか伝えなくてはならない。議会改革によって市議会の力が増し、「行政に関する監視力」、「市民との協働力」、そして、「政策を提言する力」が増せば、市民の役に立つことは明らかである。

問22

市議会では、議会運営の基本原則を定め、これを最高規範とする「上越市議会基本条例」を平成22年11月に制定しています。
この条例には、議会及び議員の活動原則をはじめ市民と議会の関係、議会と行政の関係、議会運営、政務活動費、議会の機能強化、政治倫理など明らかにしていますが、ご存知ですか。（1つだけ○）

N = 143

1	よく知っている	2	1.4%
2	よく知らないが聞いたことがある	25	17.5%
3	知らない	105	73.4%
—	無回答	11	7.7%



【問22—集計結果から把握できること】

9割の市民が「知らない」、「よく知らないが聞いたことがある」と回答している。

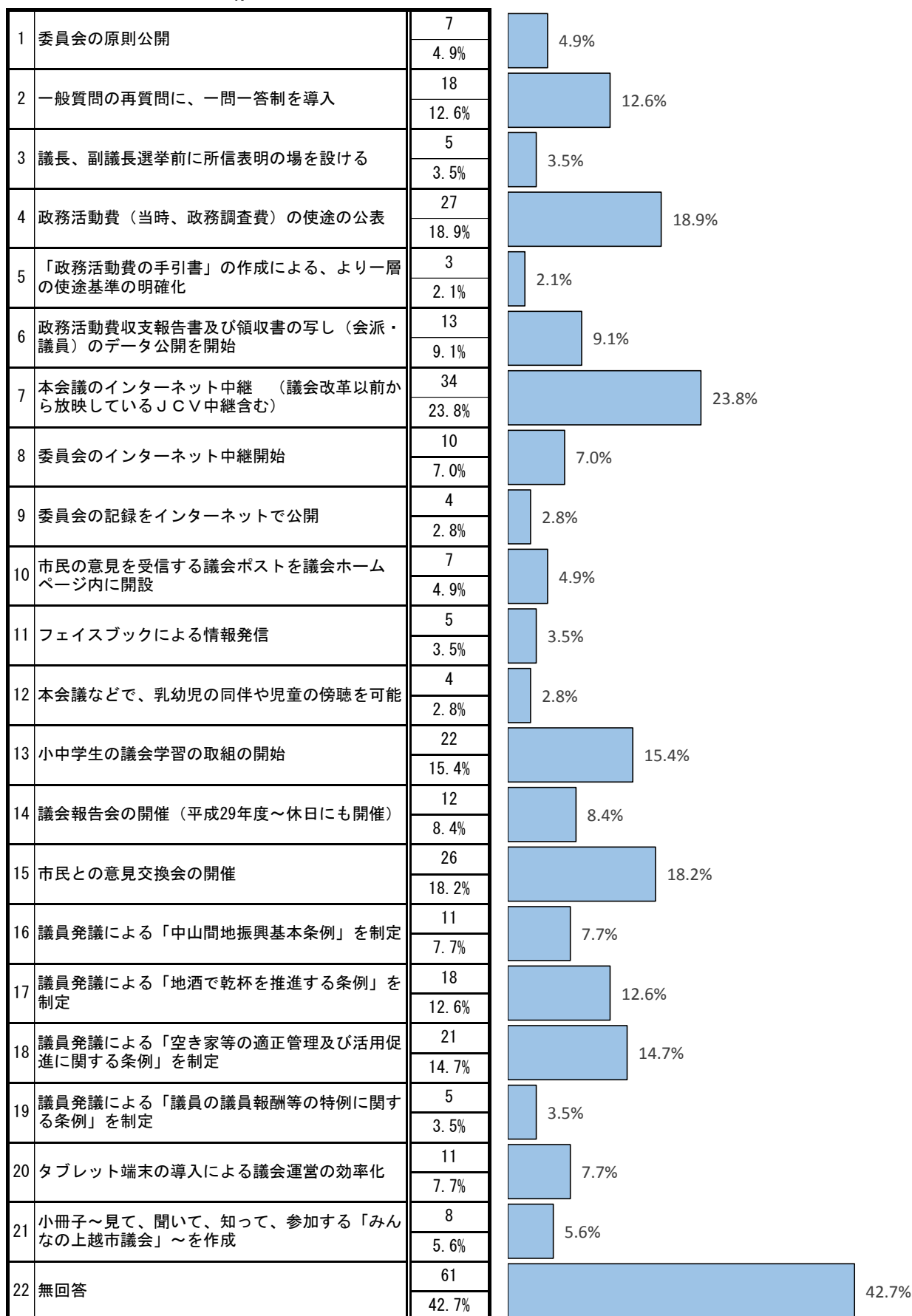
【今後の議会運営等への対応手法】

議会基本条例をほとんどの市民が知らないことはいたしかたないところもある。「かけはし」で改革事例を挙げ、シリーズ解説を行うなど、周知に努めるべきと考える。まず、知ってもらえるよう努力が必要である。

問23

市議会では、現在までに多くの議会改革を進めてきましたが、ご存知の項目をお聞かせください。（当てはまるもの全てに○）

N = 143



【問23－集計結果から把握できること】

政務活動費の公表、インターネット中継、小中学生の議会学習、意見交換会、空き家条例といった項目に、一定数の回答があったが、半数近くが無回答である。

【今後の議会運営等への対応手法】

政務活動費は、市民の関心も高く、その使い道は、明瞭潔白を貫くことを共有する。

インターネット中継は、視聴者からより関心を寄せてもらえるよう改革に努める。

小中学生の議会学習は、今後「模擬議会」に取り組む改革で充実を図る。

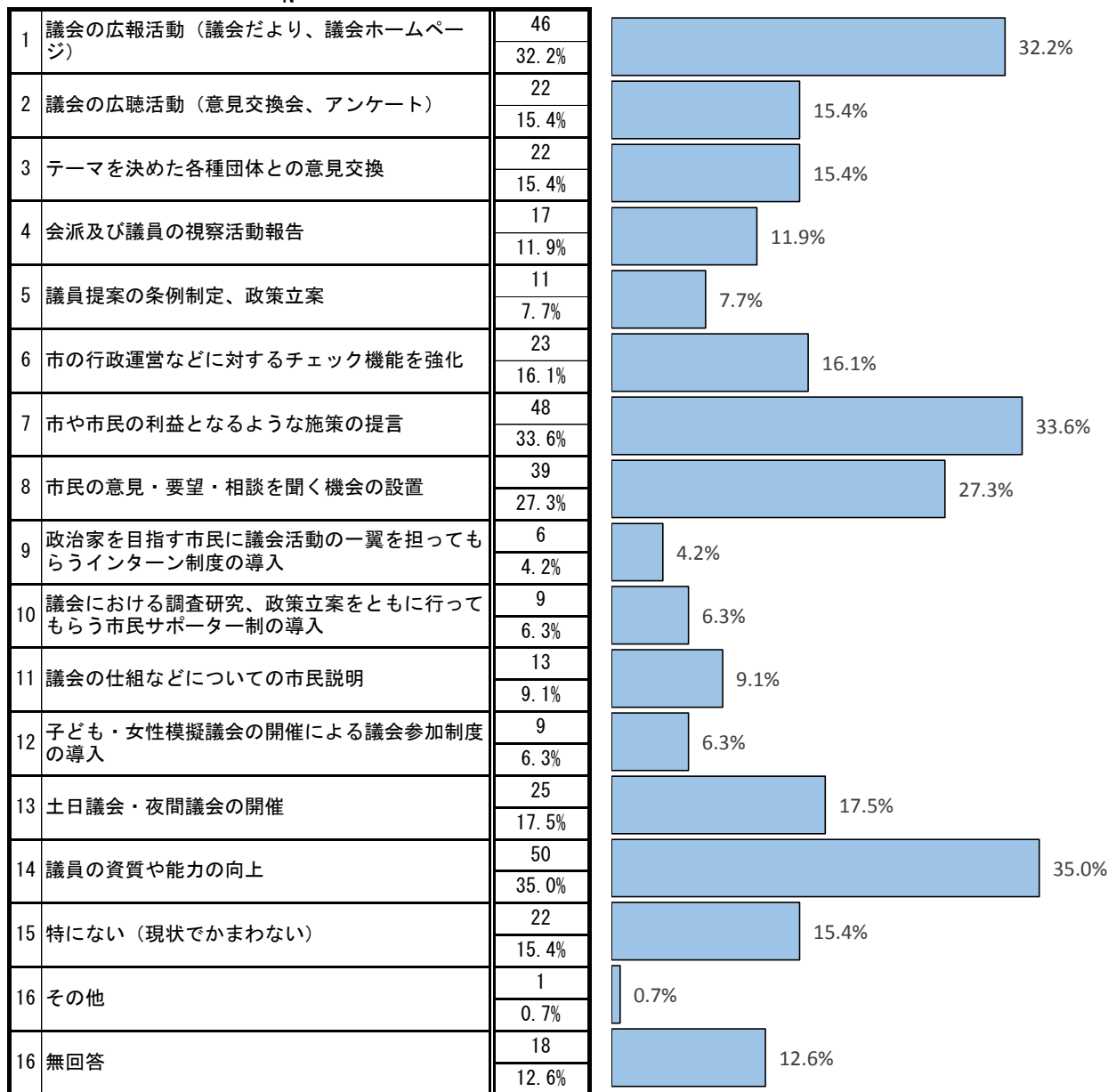
意見交換会は、従前の取組のほか、各常任委員会が各種団体との意見交換会を実施することで充実を図る。

議員発議条例の制定は、議会としての政策を市民にアピールするもの。積極的に取り組む。

問24

上越市議会は、19万人を超える市民の代表として市政のチェック機能を果たすとともに、市民の意見や要望をくみ取り市政に反映しながら、意思決定機関としての役割を担っています。このような市議会の活動が市民により身近にわかるように、議会の機能で強化すべきものをお聞かせください。(当てはまるもの全てに○)

N = 143



【その他記載内容】

- ・市民サポーターは面白そう。
- ・選挙の度に必ず投開票できるよう定数を考え無投票のないように。

【問24－集計結果から把握できること】

「議会の広報活動」、「市や市民の利益となるような施策の提言」、「市民の意見・要望・相談を聞く機会の設置」、「議員の資質や能力の向上」に多くの回答があった。

【今後の議会運営等への対応手法】

市民からの「議会をもっと知りたい、議員の活動をもっと活発に」という希望に対し、議員の力量に疑問を持たれていることが伺える。

現在、議会改革を進めているが、大事なものに目を背けることなく、議員に求められているものは何なのかなど、議会(議員)全体で真剣に議論していく。

より「開かれた議会」に向けた「市議会改革」について、ご意見やご要望など自由にお聞かせください。

- ・市議会の活動が見えない。県知事・市長の選挙等の応援で顔を見るだけで普段は何をされているのかよく分からない。
- ・選挙が終わってから顔を見せない。
- ・市民に対して議員が議会でどのような活動をしていて、市をよくするようなことをしているのかを分かりやすく伝えてほしい。
- ・権力を笠に着ないこと。
- ・問22(議会改革)の例は当然。正しく機能しているのか？
- ・定数削減(任期中に一度も質問しない議員がいると聞いた。)
- ・会派等関係なく意見を言える議会。
- ・傍聴できるオープンな市議会はとてもよいが、もう少し深く意見交換ができるとうい。市民が望んでいる結論とはかけ離れていることがある。若い人に関心を持ってもらうのが課題。
- ・HP, SNSなどを活用し、若い世代に告知。
- ・市議会に触れる機会がなかったので興味も知識もない。小・中学校のうちから議会見学をするなど身近に議会を感じられる環境を。
- ・このアンケートで初めてインターネットで市議会を開いてみたがわかりにくい。どこを改革したのかわからない。ゆっくり見ればわかるかもしれないが、さっと見てもわからない。
- ・もっと市民に身近な議会になるよう改革してほしい。例えば市民の意見・要望・相談を受け付ける意見箱やインターネットで投稿できるような手軽な手段で。
- ・市民団体が、新幹線が来ても上昇思考がない。もっとリーダー性やアイデアを持つ市長が現れないと市議会を改革することは難しい。
- ・高齢化社会になり、介護保険料がだんだん高くなるような、市民の健康への道を、少し身近なことから、一歩ずつ開いていて望ましい。
- ・現状でよい。
- ・(特に)ない。

【問25—集計結果から把握できること】

議会に対する真剣な回答が多く、個々の回答について、しっかり認識していく必要がある。

【今後の議会運営等への対応手法】

上越市議会は、議会改革を続けてきたが、その姿がよく伝わっていないと言わざるをえない。議会全体の活動とともに、個々の議員や会派の活動をしっかり「見える化」していく必要がある。

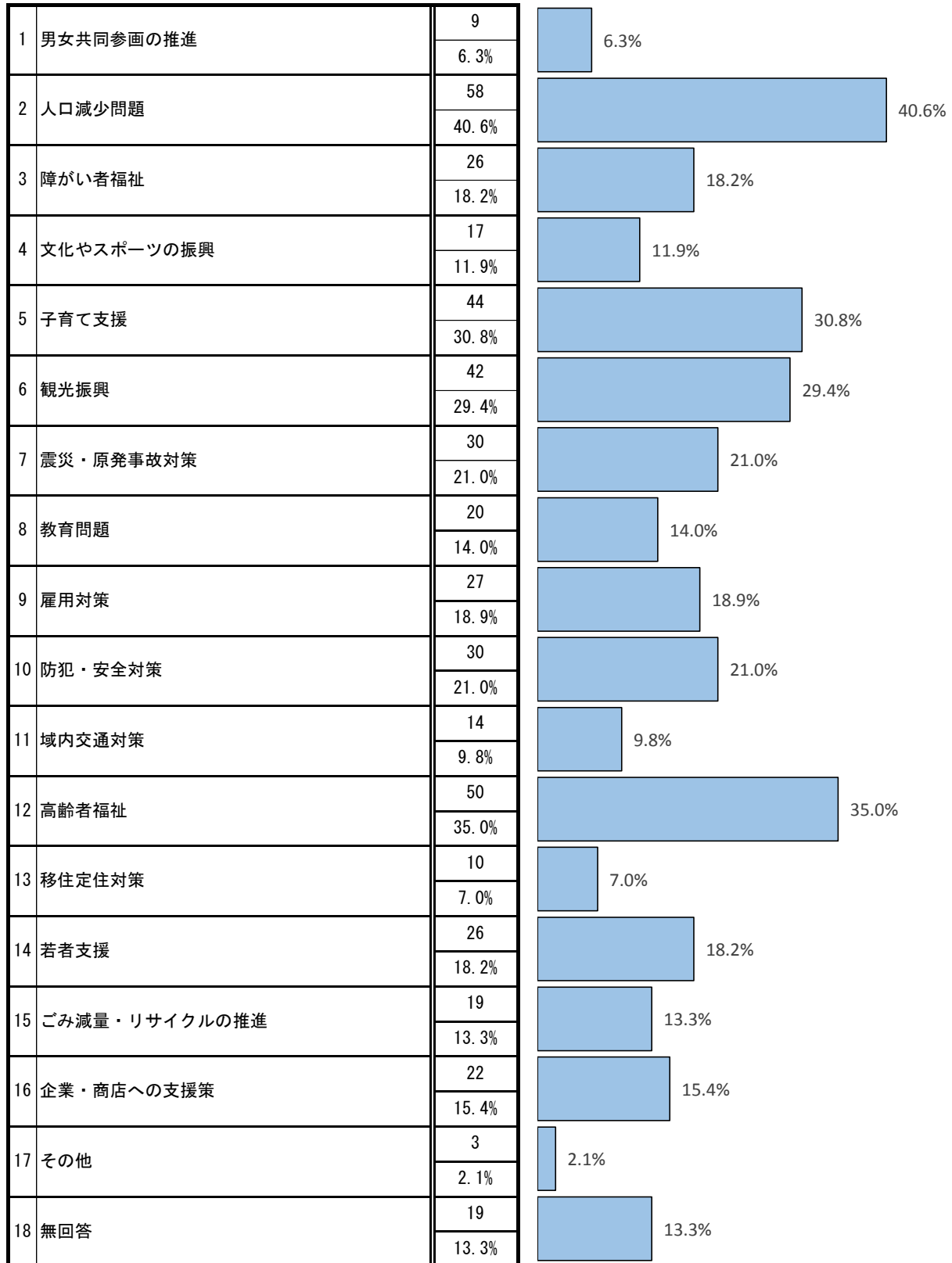
また、議会改革により改善が見られた点などを「かけはし」等で解説することが必要。市民は、普段の活動を見ている。議会改革への要望も数多く見られるが、方向に間違いはなく、それにむけて一層努力を続けていく。

項目6 その他の課題について

問26

身近に感じている市政や地域の課題について、市議会で取り上げ議論してほしいものを聞かせてください。(当てはまるもの全てに○)

N = 143



【その他記載内容】

- ・高齢者（免許返納者など）が利用しやすいようにバスなど料金を安く。
- ・何でも燃やせるようにしてほしい、仕分けが多すぎてとても不便だ。ゴミがあちこちに散乱している。
- ・学校のエアコン
- ・自宅で生涯暮らせる支援

【問26－集計結果から把握できること】

半数以上の方から選択された項目はないが、「人口減少問題」、「子育て支援」、「高齢者福祉」、「観光振興」といった、日々話題になっている課題、身近な課題が多い。

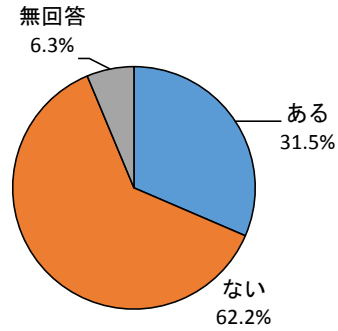
【今後の議会運営等への対応手法】

市民は多様な課題に対応できる議員及び議会を求めている。市、市民全体の問題をしっかりと掘り下げ、市民の立場から市政を幅広く議論していかなければならない。

問27 地域のまちづくり活動（町内会、地域協議会、福祉団体など）に、世話役や役員等で参加した経験はありますか。（1つだけ○）

N = 143

1	ある	45	31.5%
2	ない	89	62.2%
-	無回答	9	6.3%



【問27ー集計結果から把握できること】
6割の市民は、「参加したことがない」と回答。その一方で3割の市民は「ある」と回答している。

問27-1 【問27で①と回答された方】どのような活動に参加されましたか。

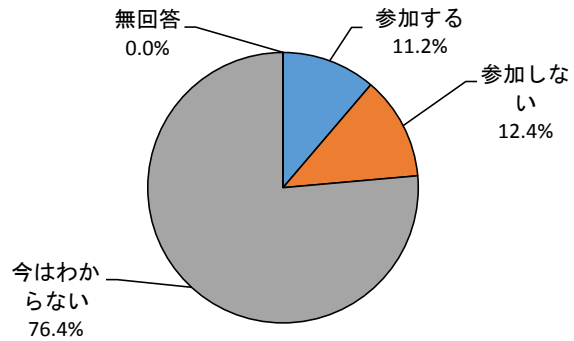
町内会（役員、各種活動）、民生委員、地域協議会、ボランティア、青少年育成会、振興会、生活環境委員、防災や交通安全に関する活動

【問27-1ー集計結果から把握できること】
町内会など身近な活動が多くを占めている。

問27-2 【問27で②と回答された方】機会があれば参加しますか。（1つだけ○）

N = 89

1	参加する	10	11.2%
2	参加しない	11	12.4%
3	今はわからない	68	76.4%
-	無回答	0	0.0%



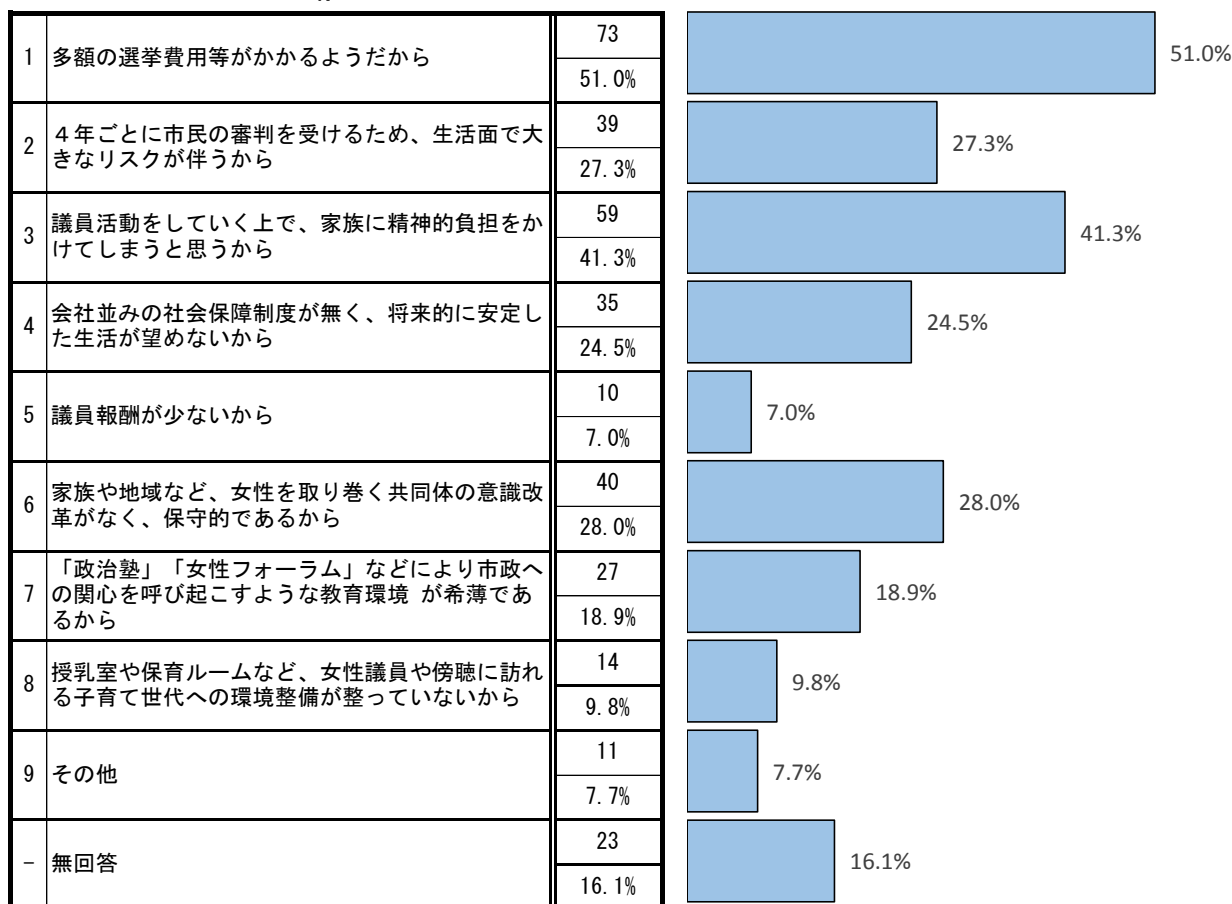
【問27-2ー集計結果から把握できること】
「今はわからない」が3/4を占めている。

【今後の議会運営等への対応手法】
地域づくりはお互いが協力し合うところから始まる。市民から積極的に活動に関わっていただけるように様々な施策を議会としても検討する必要がある。

問28

若い人達や女性からの議員のなり手が少ないのは、なぜだと思いますか。
(当てはまるもの全てに○)

N = 143



【その他記載内容】

- ・ 議員活動をよく理解できていない。
- ・ 尊敬に値する言動がなく、期待外れの人達の集団と感じられるから。
- ・ 「政治」に対して理解していないし、難しいイメージがある。
- ・ 若い人や女性を軽視する。上越は男女差別が強い。
- ・ 地元選出の古参議員が強い。新参者を受け入れない有権者が多い。
- ・ 上越市は男女差別の強い地域である。議員の中にもそのような方がいる。
- ・ 興味がない。
- ・ 今の時代、進んで役職を持つとする人は多くはない。何らかの責務を負うことで成長しようとする若い人がいたら驚きである。
- ・ 自分が何か行動するより、流れにまかせている方が楽。
- ・ 面倒だから。
- ・ 現代社会で一般的な環境の中で暮らしてきた人の選択肢にはない。
- ・ なりたいと思う女性が少ないから。
- ・ 市政に情熱を傾ける意識を感じない。

【問28—集計結果から把握できること】

「選挙費用」、「家族への負担」、「地域」など、「市議を目指しやすい環境整備検討会」で挙げた課題への回答が多く、市民の見方も同じであることが確認できる。

【今後の議会運営等への対応手法】

現在、議会改革推進会議で対応を検討中であり、「市議を目指しやすい環境整備検討会」の提言を可能なものから実現していく。

- ・障害者が自宅で過ごせる町づくりを。
- ・工事関係、サービス業でも、障害者をもっと広い目でみて採用して、また国の力を借りなどして、長い時間をかけて教えてあげてほしい。
- ・小中高のスポーツの成績が良くなるように、盛り上げてほしい。
- ・雇用確保のため企業誘致を。移住など働ける人口を増やす努力を。上越は住むにはよい所。
- ・人口減による過疎対策・商業施設の衰退、大手資本の進出による急速なる町の疲弊について、早急に議論を尽くしていただきたい。
- ・これからの上越は、受け身ではなく、県内・外、世界へと上越のよいところを発信し活性化を図るべき。観光については、より一層努力を。
- ・冬季の時期をうまく活用してほしい。
- ・旧市内中心で市政が行われている感じがするので、合併前の各町村にも配慮した市政が行われるように市議会も力をいれてほしい。
- ・美術館一つなく、19万市民を有する市として貧しい。どういう市を目指しているのか、市長や議会の姿勢が見えない。
- ・議員の質が低い。もっと勉強すべきであろう。
- ・年配が既得権益を維持したが、若者が入る余地がない。
- ・定数減。議会開催日数から報酬が高い。
- ・議員の人数を減らすべき。市議会がある度に多量の資料を作成する職員がどれ程大変か。議員報酬を減らせば市民の税金も減らせる。新しい建物より既存の建物をリニューアルすべき。
- ・偉そう。市民の生活を本気で考えている実感がない。
- ・議員の質問が馴れ合いのような気がする。もっと勉強して核心にふれてほしい。一部の議員を除いてオール与党と揶揄されている。市民に選ばれたという自覚を持って毅然とした態度で市長に接してほしい。
- ・市長と一緒に強力なリーダーシップを。長野も松本も国宝がある。建物を造るより5億でも国宝の刀を買うべき。
- ・活動費の不正がないよう、しっかりチェックを。
- ・市民はあまり個人的に関わってこないことなので関心がうすい。議会だよりでどんな事が質問されたかは目にしている。
- ・若い人、女性に偏見があるから。
- ・もっと手軽に市議や市議会に意見や相談できるようにしてほしい。
- ・議員と話す場もなく、吉川区では一人なので意見も通らない。自分だけの事を言っているように思える。集まる場、話し合える場を作っていったらよい。
- ・市議会は壁があるように感じる。関心を持ちたい時は仕事が忙しく遠のいた。アンケートで興味がわいた。これを機に勉強したい。本当の市民の声を聞けるようお願いしたい。
- ・今後の上越市を担っていく若者にも興味が持てるような市議会作りを期待しています。
- ・若い人にも少しでも多く参加される市政にしてもらいたい
- ・いつもお疲れ様です。
- ・よい方向へ頑張ってください。
- ・信頼、活躍を期待、応援していく。
- ・アンケートを機に反省しました。関心も薄く、理解もしていなかったので一生懸命働いている議員に申し訳ないと感じた。
- ・越してきてまだ日は浅いが、市民の皆様のこの街への愛着や誇りをいろいろなところで目にした。より良い街になるよう、議員の皆様には一層の御活躍を期待いたします。
- ・市民に対する市職員の態度が少し良くない場面があった。仕事中心にもかかわらず、私語が多い点、仕事に対する誠意が見られない。改善してほしい。(全職員ではなく、一部)
- ・市の非正規職員の待遇改善を取り上げてほしい。同一賃金、同一労働
- ・ゴミの分別を今の半分以上に。ゴミ袋をなくす。草刈りをしっかりしてほしい。
- ・500人は少ない。
- ・このアンケート自体、もう少し20代前半にもわかりやすいような内容、文章にすると良い。(イラストを入れる等)
- ・もしこうしたアンケートが合併後初めてなら遅すぎず。

【問29—集計結果から把握できること】
(所見なし)

【今後の議会運営等への対応手法】

議会が市民の皆さんにとって役に立つ存在であること、市民とともに考え、寄り添う身近な存在であることを、我々上越市議会はずねに念頭に置いて活動してきた。長年の取組である議会報告会・意見交換会や、議会報「かけはし」、ホームページ、SNSでの情報発信等により、議会としては、十全とはいえないまでも議員や議会の活動をしっかり伝えてきたという自負がある。しかしながら、問29のほかこのアンケートの回答から垣間見えたことは、議会への不信感と無関心が根強いということである。

今後は、発信の内容、情報量、伝え方をさらに工夫するなど、議会の「見える化」に向け、不断の努力が必要である。

また、若い市民の皆さんからの市議会への関心が低い傾向も明らかになった。市議会としては、若い皆さんから市政に関心を持ってもらえるような、さらなる工夫が求められる。

「議員は偉そうにしている」「質が低い」など批判的な意見もいただいている。市民個々の固執した考え方も若干表れているようにも思えるが、要は普段の議員活動が見えていないからそう考えるという側面があり、議会の側に課題があることの裏返しと捉えたい。

一方で、「議会に興味や関心がなかったことなどを反省した」、「アンケートで興味がわいた。これを機に勉強したい」など、前向きな声が聞けたことは素直にありがたい。

総体的に、市民は議会に批判も含め期待を抱いている、と考える。それを受け、議会を「もっと役に立つ存在」、「もっと身近な存在」にしなければならない。今回のアンケートの数字や記載された回答を市民の声として真摯に受け止め、市議会として自らをしっかりと見つめ直し、どう改善すべきか議論を深めていくとともに、各議員が自覚をもって誠実に行動していく必要がある。

最後になるが、貴重な時間を費やしてご回答いただいた市民の皆さんに深く感謝申し上げたい。議会が市民の皆さんにとって頼りにされる存在となるよう邁進していきたい。